

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第52号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年8月31日 17時35分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県名護市<sup>うんてん</sup>運天港</p> <p>名護市<sup>あう</sup>奥武島三角点から真方位251° 1,390m付近 (概位 北緯26° 38.2′ 東経128° 01.3′)</p>	
事故等調査の経過	<p>平成22年8月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。</p> <p>原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第三<sup>けんわ</sup>健和丸、499トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 136722、明神海運株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、三級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船首船底塗料剥離	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、コンテナ24本を積み、船首約2.4m、船尾約3.9mの喫水で、台風から避難するため運天港で錨泊中、西からの暴風を受けて走錨し、平成22年8月31日17時35分ごろ、<sup>や</sup>屋我地島南岸沖の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>本船は、自力で離礁して目的地に向かった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 西、風力 11（最大瞬間風速46.8m/s）、視程 約0.6km</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p> <p>大雨警報、暴風警報、波浪警報が発表されていた。</p>	
その他の事項	本船は、台風の接近により風向が変わり、転錨して2錨泊にしたが、走錨したため抜錨し、錨鎖約8節を入れて単錨泊していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、荒天下の運天港内において錨泊中、台風の通過により西からの風力11の風を受けて走錨したため、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、荒天下の運天港内において錨泊中、台風の通過により西からの風力11の風を受けて走錨したため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	